

会 議 名	杉並区立天沼中学校及び併設 1 施設改築基本設計・杉並区まちづくり条例に基づく説明会
日 時	令和 8 年 7 月 31 日(金)18:30～19:30
場 所	天沼中学校体育館
出 席 者 (事務局) ※敬称略	学校運営担当部長：小松 学校運営課長：安川 学校整備担当課長：白石 施設整備担当課長：相馬 学びとつながり担当課長：岡部 防災課長：手塚 天沼中学校長：池田 株式会社相和技術研究所：齋藤、松本、柴田
参 加 者	42 名
次 第	① 開会の案内 ② 開会の挨拶 ③ 説明者紹介 ④ 資料の説明 ⑤ 質 疑 応 答 ⑥ 閉会の挨拶
資 料	・ 次第 ・ 席次表 ・ 改築基本設計経過資料 ・ 杉並区立天沼中学校及び併設 1 施設改築基本設計 杉並区まちづくり条例に基づく説明会資料

主な質問・意見及び回答		
番号	質問・意見の概要	回答
1	給食関連車両の出入りは、どの程度の台数と頻度になるのか。	給食食材搬入のため、朝 6 時半から 7 時頃の間、軽トラックや 1 トントラックの出入りが 4 台程度あります。
2	調理に伴い発生する匂いなどの対策はどうなるのか。	ダクトを屋上まで設置し排気することで、近隣の方々に対して直接の匂いが極力無いように計画しております。
3	1 階の給食室・家庭科室外壁から隣地境界線までの距離は何mあるのか。	8.5m 以上の距離を確保しております。
4	現在の西校舎から西側敷地境界までの距離は何mか。	現在は 2.9m になります。
5	屋外倉庫の高さを教えてほしい。	平屋建ての計画のため、4m前後になります。詳細は実施設設計で進めてまいります。
6	校庭のクレー舗装はどのような素材なのか。	土系で埃が出にくい素材を選定する方向で進めております。
7	周辺歩道状空地の「インターロッキング舗装」とはどのようなものなのか。	インターロッキング舗装については、一般的に街中にある、10 cm×20 cm程度のレンガ状の物を敷き詰めたよう

	か。	な外見で浸透性がある物を計画しております。
8	西側の住宅と校舎が近い部分があるが、セットバックのイメージができない。	1 1 ページの右下側の F-F' 断面のとおり、隣地境界線から約 2 m 離れた場所に器具庫があります。その器具庫の幅 4 m 下がったところから、体育館の壁が立ち上がるということで、4 m 後退していることをセットバックと表現しております。
9	住宅の窓と近い位置にある体育館の窓について配慮等があるのか。	体育館の窓を曇りガラスにすることや目隠しフェンスの設置などで配慮させていただければと思います。
1 0	改築工事中に給食は提供されるのか。	仮設校舎にも給食室を設け、これまでと同様に給食を提供する予定です。
1 1	校庭の舗装について、人工芝にするなどの検討はされたのか。	部活動では土系舗装の方が選択肢の幅が広く、防災時の活動等も踏まえ、土系舗装としております。
1 2	体育館の隣に図書室があるが、何らかの防音・防振対策は講じられるのか。	体育館と図書室間は RC 造の壁を通常より厚くする計画で、音の伝搬も通常より抑制できると考えております。また、床は鋼製床組という振動をなるべく吸収できる製品を検討しております。壁もシステム壁という、少し音の吸収等をできる壁を検討しており、図書室への音の伝搬を防ぐよう計画を進めております。
1 3	工事車両の出入りはどこからになるのか。	工事の出入りについては P13 のステップ図の赤い三角の印が工事車両出入口となります。工事のステップごとに南もしくは東、北を使用して工事を進めていく予定です。
1 4	平面図の青い太線で囲まれた部分は何を意味しているのか。	平面図の青い枠内は、地域の皆さまに一般開放するエリアを示しております。
1 5	学校の東側で宅地の敷地境界にあるフェンスは残すのか。	境界線上のフェンスは、残します。
1 6	防球ネットは作り直すのか。	学校敷地内側にある防球ネットは作り直す予定です。
1 7	想定防球ネット高は現状より高くなるのか、低くなるのか。	防球ネットの高さは、現状 7m ですが、新たな防球ネットは 15m 程度を考えております。
1 8	さざんかステップアップ教室と体育館の間の壁も、図書室と同様に配慮してほしい。	さざんか教室と体育館の間の壁も、図書室との間の壁のように少し厚めのコンクリート壁であり、間に廊下があるため、図書室以上に音の影響は抑えられると考えております。
1 9	荻窪と天沼のさざんかステップアップの各教室は改築中はどのようなになるのか。	さざんかステップアップ教室の天沼教室は旧上井草会議室へ仮移転いたします。また、荻窪教室は高円寺中央会議室に仮移転し、それぞれの移転先で運用予定です。

20	仮設校舎の建設時以降の校庭はどのようなになるのか。	ステップ2では、北側校舎と特別教室棟間の白い部分が使用可能です。ステップ3では仮設校舎と体育館の下の白い部分に、給食車両の出入り口と体が少し動かせるスペースの確保を検討しております。また、体育館は継続して利用可能であるため、体育は主に体育館での実施を想定しております。体育祭などは他校や施設等の活用を含め不便の無いように確保に努めます。
21	歩道状空地はどのような意味合いで作られるのか。	区の指導要綱に基づいて、2mの歩道状空地を設置いたします。
22	道路と学校の境界にある塀はそのまま、今後も変わらないのか。	現状の塀を学校側に2m下げて、学校のフェンスの外に歩道状空地を設置いたします。
23	緑地帯の丸の部分は樹木なのか。またその場合、種類や高さは決まっているのか。	緑地帯の植栽計画は、区の緑化基準等を確認しながら、今後詳細を計画していきます。
24	緑地帯の雑草や樹木の剪定・伐採などはどのような計画なのか。	定期的な計画等はありませんので、ご連絡いただければ時期を見て剪定等の対応をさせていただきたいと思っております。
25	正門が北側から南側へ変更されることで、学校周辺道路における生徒の通行量はどのように変化すると考えているのか。	現在は北門と東門を利用する生徒がおおむね半数ずつに分かれております。今後は、これまで東門を利用し天沼小学校側から登下校していた生徒が南側から登下校することとなるため、生徒は各門へおおむね3分の1程度ずつ分散すると考えております。
26	西側について、隣地境界に近接して高さ4mの倉庫があるが、圧迫感や日影への影響を軽減するために設計変更することは可能か。	影響を無くすことや、離隔距離を更に確保することは配置上難しいですが、高さを若干でも下げる等の対策について検討いたします。ご期待に沿う形にできるかについてはお約束ができませんが、誠意をもって取り組んでまいりたいと思っております。